

こんにゃくを世界へ、Mr. Konnjacの挑戦

(有限会社 石橋屋)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:福岡県大牟田市大字上内529番地
- 代表者:代表取締役社長 石橋 涉
- 資本金:800万円
- 売上高:1億6,000万円
- 従業員数:15名(パート含む)
- URL:<http://konjac.jp/index.html>

①事業概要

<こんにゃく製造・販売>

有限会社石橋屋は、バタ練りという独特の製法でこんにゃくを製造している。現在、この製法でこんにゃくを製造するメーカーは国内で数件程しかおらず、独特のコリコリとした食感と味の速さが特徴。一時はオートメーションの機械を導入したこともあったが、15年ほど前からバタ練り製法に絞り込み、現在では、百貨店や高級スーパーを中心に全国2,500店舗で販売している。

平成14年頃から更なる販路開拓を目指し、海外展開にも取り組んでいる。

②海外展開概要

<香港、北米、欧州への販路開拓>

同社は、平成14年にシンガポールで開催された展示会に出展したことを契機として、世界各地の展示会等に参加するようになり、販路を拡大。現在では、海外17カ国(米国、イギリス、ドイツ、スイス、ロシア、オーストラリア、ドバイ、シンガポール、中国、香港、台湾、韓国、タイ)に輸出している。

米国進出に際しては、石橋社長が単身ニューヨークに降り立ち、飛び込み営業を粘り強く行っていく中で販路をつかんだ。今や“Mr. Konnjac”とニックネームが付くほどに。

また、欧州向けとして、外国人シェフのアドバイスを受けながらこんにゃくを使用した三色の麺を開発するなど海外向けの商品開発も積極的に行っている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

ジェットロ等が開催する海外展示会に積極的に参加することで販路を拡大。

平成21年にはジェットロ輸出有望案件発掘支援企業に採択されている。

産学連携による商品開発も積極的に行っており、平成23年には地域産業資源活用事業計画の認定を受け、こんにゃくパウダーの機能性や活用可能性に関する研究開発を実施。

④今後の事業展開について

こんにゃくを輸出する上でのボトルネックの一つは輸送コスト。そこで、こんにゃくをパウダー状にすることで重量を軽くしたこんにゃくパウダーを開発。今後は、これまでのこんにゃく製品に加え、こんにゃくパウダーの輸出にも注力していく。



石橋屋社屋



こんにゃく製品



石橋社長

(平成24年10月現在)

データ出所:九州経済産業局